

# 津麦ニュース 令和3年産 第3報

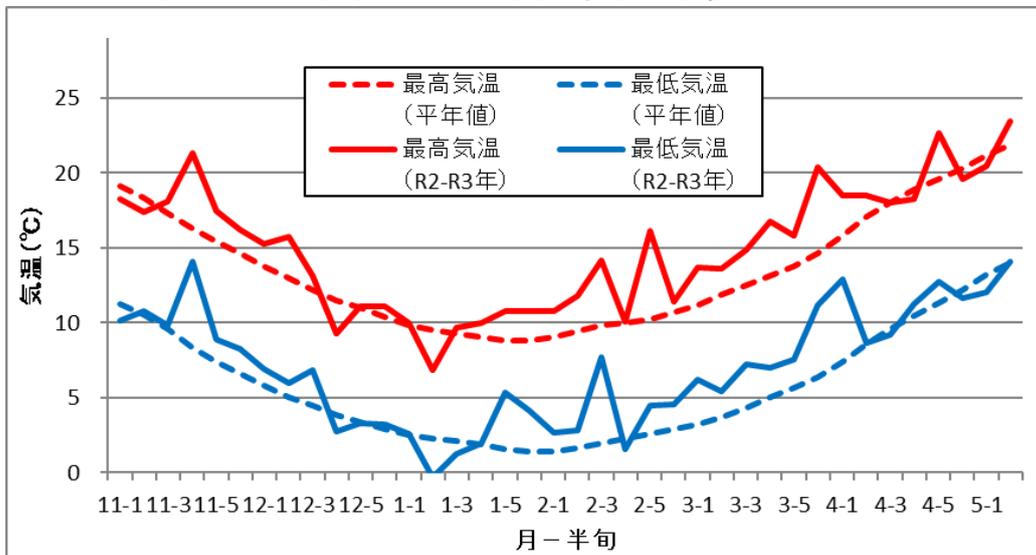
令和3年5月14日発行  
津地域農業改良普及センター  
電話:059-223-5103

播種時期が早かったところでは生育が早くなっています。  
適期収穫を行い、良質麦を確保しましょう。

## <気象経過>

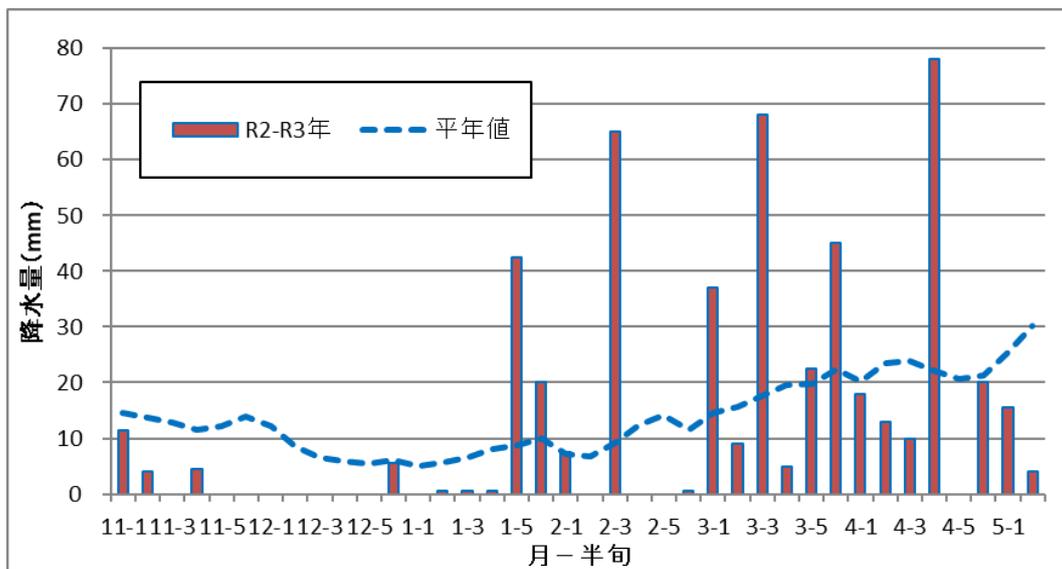
### ○気温

12月第4半旬～1月第2半旬を除いて気温は高く経過しています。11月初めから5月上旬までの平均気温は平年より1.4℃高い状況です。



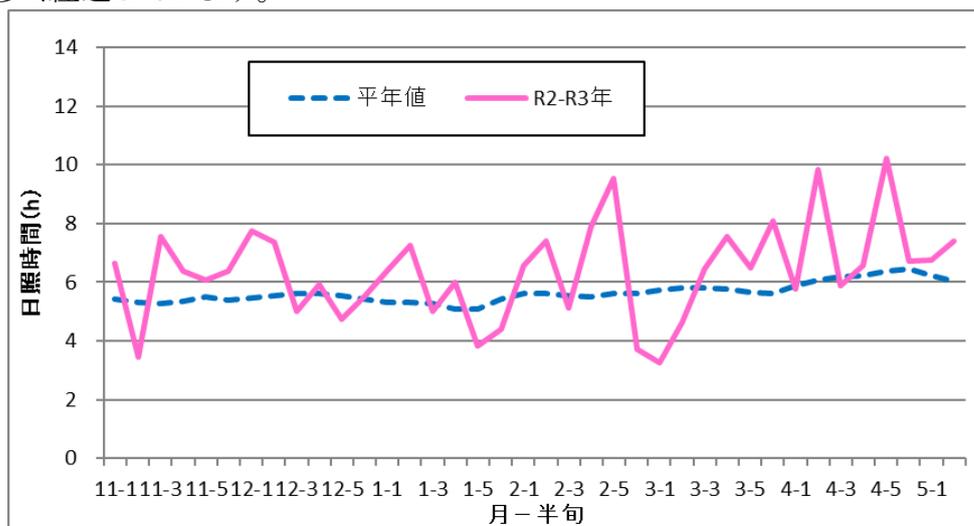
### ○降水量

1月第4半旬までは少なく、それ以降は周期的にまとまった雨が降りました。2月～4月の降水量は平年の134%と多くなっています。



## ○日照時間

2月末から3月上旬は日照が少なかったものの、それ以外の時期は概ね日照時間が多く経過しています。



## <麦の状況>

### ○ 生育状況

11月15日頃までに播種したほ場では、12月第3半旬まで気温が高く推移したことから、初期に生育が進みました。12月第4半旬～1月第2半旬は低温となりましたが、その後再び気温が高く経過したことから、生育が早まり、出穂時期は11月5日播種のは場で3月末頃に、11月15日播種のは場では4月5日前後になりました。一方、11月下旬以降に播種したほ場では、乾燥により出芽に時間がかかり、その後の気温低下もあって初期の生育が遅れたことから、出穂時期はそれほど早まらず、11月25日播種のは場で4月14日頃の出穂となりました。

播種時期の天候に恵まれたことから苗立が確保されており、その後も順調に経過していることから、全体に生育は良好です。近年、チゼルプラウ等による排水対策がされており、湿害の発生は少ない状況です。一部、生育過剰により倒伏が見られていますが、今のところ大きな問題はないと思われます。

### ○ 病虫害発生状況

現在のところ、特に目立った病害や虫害は観察されていません。

## <今後の対策>

### ○ 適期収穫

麦の収穫適期のめやすは、穀粒水分27～28%になった頃です。

- ①成熟期前後に雨にあたりと穂発芽の発生や、容積重が低下し、外観も悪化して品質が低下します。今後の天気を考慮し雨が続きそうな場合は少し早めから収穫を開始しましょう。
- ②あやひかりは白穂品種で収穫時期が判別しにくいので、水分測定を行って刈り取り時期を判断しましょう。
- ③本年の麦の生育予測によると、あやひかりの成熟期は概ね昨年並みの5月第6半旬～6月第1半旬となると思われます。

収穫作業の準備は早めに行い、生育状況を注視して、適期作業に努めましょう。

## ○小麦の生育予測

令和3年5月11日現在

| 品種    | 播種日    | 出穂期   | 開花期の<br>予測日 | 成熟期の<br>予測日 |
|-------|--------|-------|-------------|-------------|
| あやひかり | 11月5日  | 3月30日 | 4月7日        | 5月26日       |
|       | 11月15日 | 4月5日  | 4月17日       | 5月30日       |
|       | 11月25日 | 4月14日 | 4月22日       | 6月3日        |

※メッシュ農業気象・麦生育予測システムVer.2.0による予測です。

津市平野部の気象データを使用しました。

## ○雑草対策(ネズミムギ(イタリアンライグラス)、カラスムギについて)

繁殖能力が強く、連作ほ場で発生が見られるところがあります。ほ場での発生が確認された場合には、発生量がわずかでも結実前に抜き取りましょう。また、作付け計画を見直し、一年休耕して耕起や非選択性除草剤で防除、常時湛水で種子の死滅を図る等の対策を行いましょ。